**６年　「縄文のむらから古墳のくにへ」　（６月　８時間　）**

**（１）小単元の目標…**この単元は学習指導要領の内容（２）のアに基づいて行う。

狩猟・採集や農耕の生活，古墳とそれに関わる人々の働きについて調べ，各地に大きな力をもつ豪族が出現したことや，やがて大和朝廷によって国土が統一されていったことがわかるとともに，神話や伝承に見られるくにの形成について考えようとする。

**（２）小単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに，むらからくにへ変化したことについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料を活用して，必要な情報を読み取り，理解している。 | ・農耕の始まりによってそれまでの生活や社会が大きく変化し，各地に大きな力をもつ豪族が出現したことや，大和朝廷（大和政権）によって国土が統一されていったことについて，調べたことを比較したり，関連づけたり総合したりしながらこの頃の世の中の様子の変化を考え，適切に表現している。 | ・狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに，むらからくにへ変化したことについて予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 |

**（３）知識の構造図**

**中心概念**

米づくりにより，生活は安定して，大きなむらは小さなむらを従えてくにへと発展した。王や豪族は，渡来人の技術や文化をくにづくりに役立て，大きな古墳をつくって力を示した。５～６世紀ごろには大和朝廷により国土が統一された。❼

**まとめる**

**具体的知識**

　・仙台市でも富沢遺跡（地底の森ミュージアム）山田上ノ台遺跡（縄文の森広場）などの縄文のむらがあり、雷神山古墳、遠見塚古墳など、力をもった豪族が古墳を作らせた。　　　　　　　　　　　　　　　　❽

　・大和地方に現れた大和朝廷は、五～六世紀ごろには、九州地方から東北地方南部までの豪族や王を従えた。　　　　　　　　❻

　・大きな力をもった王や豪族は、すぐれた技術者を指図し、多くの人々を働かせて、古墳をつくった。　　　　　　　　　　　❺

・米づくりが広がると、力の強いむらが周辺のむらを従えくにへと発展した。くにを支配する王や豪族は、渡来人の技術や文化を取り入れくにづくりに役立てた。　　 ❹

　・弥生時代の人々は、指導者を中心に共同で米づくりを行い、道具を工夫しながら定住して生活していた。　　　　　　　　　❷

　・縄文時代から弥生時代の様子の違いには米づくりの始まりが大きくかかわっていた。

❸

　・縄文時代の人々は、必要な道具を石や木、動物の骨などで作り、狩猟や採集をして協力して生活をしていた。　　　　　　　❶

* 米づくり
* たて穴住居
* 世紀
* 山田上ノ台遺跡
* 遠見塚古墳
* 雷神山古墳
* 大王
* 大和朝廷
* 神話
* 古墳
* はにわ
* 大仙古墳
* くに
* 王・豪族
* 渡来人

・弥生時代

・弥生土器

・板付遺跡

* 縄文時代
* 縄文土器
* 三内丸山遺跡

**用語・語句**

**問題解決的な学習の過程**

**つかむ**

**調べる**

**いかす**

**（４）指導計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | | 資　料 |
| 学習問題をつかむ（３時間）❶～❸ | 縄文のむらのくらしの様子について話し合いましょう。❶  ①縄文のむらの遺跡（三内丸山遺跡）の写真を見て，気付いたことや分かったことを話し合う。  ②資料を活用して，当時の人がどのようにくらしていたのかを調べる。  縄文のむらの人々は，必要な道具を，石や木などでつくり，狩や漁，採集中心のくらしをしていた。 | □材質や使われ方など，出土品を観察するときの視点を知らせる。  □「縄文のむらの人々の1年の生活」から，住まいや食事の様子を調べさせ，生活の様子を考えさせる。  ☆縄文のむらのくらしの様子に関心をもち，進んで調べようとしている。  《態度》 | | ・縄文のむらの遺跡の写真  ・縄文のむらの人々の1年の生活の図 |
| 米づくりが始まったころのむらや人々のくらしの様子について話し合いましょう。❷  ①「米づくりの様子（想像図）」をもとに，人々のくらしの様子を話し合う。  ②米づくりによって当時の人々の生活がどのように変化したのかを調べる。  弥生のむらの人々は，道具を工夫しながら，指導者を中心に力を合わせて米づくりをしていた。 | □道具がどのように使われていたのかを想像図などから確認させる。  □米づくりが大陸から伝わり日本全国に広がり，生活の様子が変化していったことを捉えさせる。  ☆米づくりの様子の資料から弥生のむらの人々のくらしを読み取っている。  《知識・技能》 | | ・米づくりの様子（想像図）  ・米づくりに使われた道具の写真（実物） |
| 縄文時代と弥生時代の想像図を見ながら話し合い，学習問題を作りましょう。❸  ①縄文時代と弥生時代の想像図からそれぞれの生活の様子について，分かったことや考えたことを話し合う。  ②疑問に思ったことを発表し合い，学習問題をつくる。  **学習問題**米づくりが始まったことにより，人々のくらしや世の中はどのように変わっていったのでしょうか。 | □衣・食・住の観点で，くらしの様子を読み取らせるようにする。  ☆くらしの様子の違いは，米づくりが大きくかかわっていることに気づき，そこから学習問題を見いだして，学習計画を立てている。  《思考・判断・表現》 | | ・縄文時代・弥生時代の想像図 |
| 学習問題について調べる（３時間）❹～❻  　　　　　　　　　　　　　　調べる（８時間） | 米づくりが広まったことによって,むらの様子はどのように変わっていったのでしょうか。❹  ①弥生時代の遺跡の出土品を調べ,むらにはどのような変化が起こったのかを話し合う。  ②中国の古い本（部分要約）をもとにして,むらがくにへと発展していったことを知る。  力の強いむらが周辺のむらを従え，くにへと発展した。各地の王や豪族は，渡来人の技術や文化をくにづくりに役立てた。 | □道具（剣や刀など）などから当時のむらの様子の変化を捉えさせる。  □中国の本や出土品（銅銭など）から大陸との交流があったことをつかませる。  ☆米づくりの広がりによって，むらがくにへと発展していたことを理解している。  《知識・技能》 | | ・弥生時代の遺跡の出土品  ・魏志倭人伝（部分要約） |
| 古墳は，何のために，どのようにしてつくられたのでしょうか。❺  ①古墳の写真や古墳を築いている様子の想像図，出土品などから，古墳づくりの目的や理由について考え，話し合う。  大きな力をもった王や豪族は，その力を示すために，すぐれた技術者を指図して，多くの人々を働かせて，古墳をつくった。 | □古墳の大きさや多くの人を動員してつくらせたこと，出土品などから古墳にほうむられた人の力の大きさを捉えさせる。  ☆古墳の大きさや出土品などの大きさから，くにづくりを進めた王や豪族たちの力の大きさを考えている。  《思考・判断・表現》 | | ・古墳の写真  ・古墳を築いている様子（想像図）  ・古墳の出土品の写真（実物） |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | 資　料 | |
| める（１時間） | 日本の国はどのようにして統一されていったのでしょうか。❻  ①古墳の分布図から，大きな力を持った王がくにを治めていったことを調べる。  ②出土品・神話などから大和朝廷の力が各地に広がり，国土が次第に統一されていったことを知る。    大和地方に現れた大和朝廷は，５～６世紀ごろには九州地方から東北南部までの王や豪族を従えた。 | □古墳の分布図から大きさや数に着目させ，その場所の様子について考えさせるようにする。  □神話は史実ではないことに留意して，当時の人々のものの見方や考え方に関心をもたせるようにする。  ☆大和朝廷が九州地方から東北地方南部までの豪族や王を従えて国土を統一していったことを理解している。《知識・技能》 | ・古墳の分布図  ・出土品 | |
| 学習問題をまとめる（１時間）❼ | 調べたことをもとに，学習問題について考えをまとめましょう。❼  ①単元の学習を通して，これまで学んできたことを振り返る。  ②学習問題に対する自分の考えをノートにまとめる。  米づくりにより，生活は安定して，大きなむらは小さなむらを従えてくにへと発展した。王や豪族は，渡来人の技術や文化をくにづくりに役立て，大きな古墳をつくって力を示した。５～６世紀ごろには大和朝廷により国土が統一された。 | □ノートや今までの資料などを手掛かりにして，米づくりから大和朝廷による国土の統一まで，学習したことを振り返らせる。  ☆米づくりの広がりと，当時の人々のくらしや世の中の変化を関連付けて国土が統一されていったことを考えて，まとめている。  《思考・判断・表現》 | ・授業で使用した資料などを貼付した掲示物 | |
| いかす（２時間）❽ | わたしたちのまちの縄文時代・弥生時代の様子について調べよう。❽  ①地底の森ミュージアム・縄文の森広場を見学して，縄文時代や弥生時代の生活の様子について理解を深める。  ②仙台の遺跡や古墳について調べ，わたしたちの住む町の歴史に関心をもつ。  わたしたちのまちにも，当時の遺跡や古墳があり，人々が生活した様子に見たり触れたりすることができる。 | □見学や体験を通して，学習の理解を深め，地域の歴史に関心がもてるようにする。  □身近な地域に遺跡や古墳があることに気づかせ，進んで調べようとする態度を育てるようにする。  ☆地域の歴史に関心をもち，進んで調べようとしている。  《態度》 | ・パンフレット  ・ワークシート | |

**（５）ワークシート**

**○縄文時代・弥生時代の様子を調べるワークシートの例**

□縄文時代・弥生時代の想像図をもとにそれぞれの違いをまとめる際に使用する。

□衣食住の観点でくらしの様子を比較させるようにする。

□疑問に思ったことから学習問題をつくることができるようにする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 縄文時代 | 弥生時代 |
| 衣 | ・動物の皮 | ・生地がちがう |
| 食 | ・動物や魚，木の実など | ・米づくり（田や畑がある） |
| 住 | ・竪穴住居 | ・竪穴住居  ・高床倉庫 |
|  |  |  |
| 疑問に思ったこと | | |
|  |  |  |
| 学習問題　米づくりが始まったことにより，人々のくらしや世の中はどのように変わっていったのでしょうか。 | | |

|  |
| --- |
| 地底の森ミュージアムwebページ：http://www.city.sendai.jp/kyouiku/chiteinomori/  縄文の森広場webページ　　　　：http://www.city.sendai.jp/kyouiku/jyoumon/ |